

第23回文化芸術講座

浮世絵の歴史と魅力

講座内容

江戸時代に花開いた庶民文化・浮世絵は、色摺りの木版画を基本に、17世紀から19世紀にかけて江戸の地で高度な発展を遂げました。版画でつくられて多くの人々の手に届いた浮世絵は、マスメディアによる娯楽の原点ともいえます。成立から成熟、爛熟へと展開する浮世絵の歴史とその魅力を、各時期を代表する浮世絵師の作品画像を鑑賞しながらお楽しみいただきます。

第1回 10月15日(水) 午後2時～4時

講座：成立期の浮世絵―師宣、鳥居派、懷月堂派

第2回 10月22日(水) 午後2時～4時

講座：成熟期の浮世絵―春信、歌麿、写楽

第3回 10月29日(水) 午後2時～4時

講座：爛熟期の浮世絵―北斎、国芳、広重



■講師

山本ゆかり氏

(多摩美術大学
非常勤講師)

■募集要領

●9月3日(水) 午前9時より電話または窓口で受付開始

●場所 大野台公民館 大会議室 ●駐車場は台数制限あり

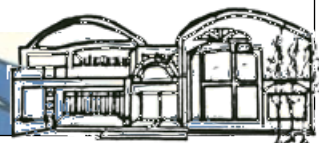
●募集人数 50名(先着順)定員になるまで ●受講料 無料

●申込・問合せ 042-755-6000

●主催 公民館文化部 <裏面参照>

木もれびの森 大野台公民館

相模原市南区大野台 5-16-38 <https://www.sagamihara-kouminkan.jp/oonodai-k/>



講座概要

第1回 10月15日(水)

成立期の浮世絵—師宣、鳥居派、懷月堂派

17世紀後半期の浮世絵のはじまりから、18世紀前半期までの初期浮世絵について、菱川師宣などを中心に解説します。

第2回 10月22日(水)

成熟期の浮世絵—春信、歌麿、写楽

鈴木春信と錦絵(多色摺木版画)の成立、その後の歌麿、写楽をはじめとする18世紀後半期の成熟した浮世絵をご紹介します。

第3回 10月29日(水)

爛熟期の浮世絵—北斎、国芳、広重

表現や技巧が研ぎ澄まされてゆく19世紀の爛熟期の浮世絵を、北斎、国芳、広重などの作品から鑑賞します。



喜多川歌麿
「婦人相学十牀 浮気之相」
東京国立博物館蔵
ColBase (<http://colbase.nichi.go.jp/>)



東洲斎写楽
「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」
東京国立博物館蔵
ColBase (<http://colbase.nichi.go.jp/>)



葛飾北斎
「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」メトロポリタン美術館蔵



歌川広重
「木曾海道六拾九次之内 洗馬」メトロポリタン美術館蔵

講師プロフィール

山本ゆかり氏 (多摩美術大学 非常勤講師)

学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。博士(哲学)。多摩美術大学、和光大学、法政大学兼任講師。川崎・砂子の里資料館学芸員。専門は日本近世絵画史。

著書に『上方風俗画の研究』(藝華書院 2010年)、『春画を旅する』(柏書房 2015年)など。